

広域連携事例	
堺市と富田林市の工事・業務の共同発注、資機材の共同購入等(令和2年1月～)	
堺市 事業規模等	給水人口 : 835,109 人 1日最大給水量: 276,875 m ³ /日 給水面積 : 149.81 km ² 職員数 : 【直営】 ²⁵¹ 人 【第三者委託】 人 【委託】 人 ※数字は、令和2年4月1日時点
富田林市 事業規模等	給水人口 : 110,690 人 1日最大給水量: 38,217 m ³ /日 給水面積 : 39.72 km ² 職員数 : 【直営】 ³¹ 人 【第三者委託】 人 【委託】 人 ※数字は、令和2年4月1日時点
スキーム等	
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年4月 周辺9市と広域連携事業検討WGを立ち上げ、水平連携について検討・協議（富田林市、大阪狭山市、河内長野市、和泉市、泉大津市、羽曳野市、松原市、高石市、藤井寺市） ○平成31年4月 周辺9市に共同発注等の事業連携について意向確認 ○令和元年8月 富田林市と、令和2年度から漏水確認調査の共同発注を行う方向で合意 ○令和2年1月 水道事業の事業連携に関する基本協定の締結
広域連携 (事業統合) のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ①水平連携による府域一水道の広域化推進。 ②工事・業務の共同発注等を通じた、両事業体における経営基盤強化
広域連携 (または事業統合) のデメリット(課題)	
業務手法 (公民連携等)	② 業務委託(個別・仕様委託)
対象業務 (維持管理体制)	
	<p>※本事例は工事又は業務の共同発注、資機材の共同購入、水道事業に係る共同研究等の事業連携を行うことを想定している。 漏水確認調査業務を共同発注済。</p> <p>※対象業務の色分けは、両事業によって異なるため、白抜きとしている。</p>